

FUJITEC

2023年3月期第1四半期 連結業績概要

(2022年4月1日から2022年6月30日まで)

2022年8月5日

フジテック株式会社

(東京証券取引所プライム市場: 6406)



2023年3月期第1四半期連結業績概況

- 前年同四半期比 増収減益。売上高417億5百万円（5.2%増）、営業利益21億55百万円（44.3%減）
- 南アジア、米州・欧州で増収増益。日本と東アジアで中国・上海のロックダウンによる影響と原材料費の高騰が利益に影響
- 受注高は515億67百万円（8.5%増）。日本では新生活様式への需要、保守が堅調。海外で新設・モダニゼーション工事が好調

トピックス

- 2022年度を初年度とする新中期経営計画「Vision24」がスタート
- 「エアータップ」(エレベータ非接触ボタン)ラインアップを拡充。さまざまな施設への適用拡大に対応
- 台湾のエレベータ工場で、設備増強が完了。生産効率が向上し、1,000台（年間）の生産体制を構築



フジテック・台湾
新竹工場

2023年3月期第1四半期連結業績概況

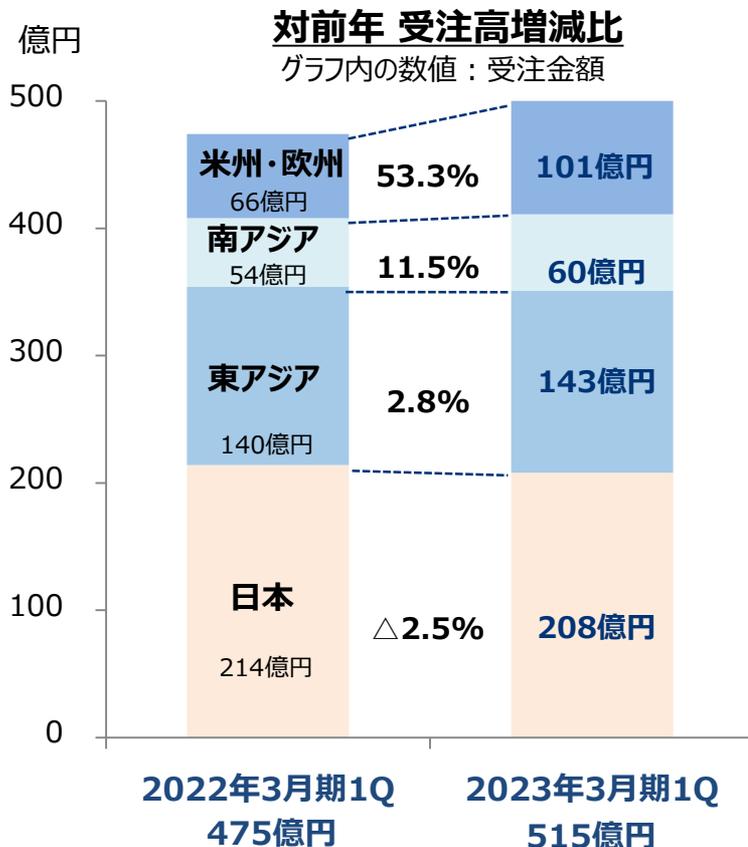
第1四半期 業績ハイライト

- 前年同四半期比 増収減益。中国・上海のロックダウンによる影響と原材料費の高騰で、収益性が低下

(単位：百万円)

	2022年3月期 1Q	2023年3月期 1Q	前年同四半期増減(%)
売上高	39,656	41,705	5.2
国内	16,214	15,296	△5.7
海外	23,441	26,408	12.7
営業利益	3,870	2,155	△44.3
経常利益	4,253	2,991	△29.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,337	2,845	△14.7
1株当たり四半期純利益	41.13円	35.50円	—
対米ドル円為替レート	104.74円	115.34円	

- 前年同四半期比 8.5%増。国内は、上海ロックダウンによる受注制限などで微減。海外は、新設・アフターマーケット事業ともに好調



【国内】 208億75百万円 (前期比 2.5%減)

- 新設事業**
前年同四半期の大型案件受注による反動減と、上海ロックダウンによる受注制限が影響したものの、順調に推移し、微減
- アフターマーケット事業**
モダニゼーション工事が新パッケージ商品が好調で増加
保守は、高い契約率を維持し、引き続き堅調に推移

【海外】 306億91百万円 (前期比 17.5%増)

- 新設事業**
東アジアは台湾で増加、中国で減少
南アジアはインド、マレーシアで増加、シンガポールで減少
米州・欧州は米国で増加
- アフターマーケット事業**
香港、シンガポール、英国でモダニゼーション工事が増加

第1四半期 セグメント別業績

- 売上高は、南アジア、米州・欧州で増収。日本は、中国・上海のロックダウンによる部品輸入の停滞が大きく影響
- 営業利益は、南アジア、米州・欧州で、アフターマーケット事業の増加が利益に貢献。日本、東アジアで原材料高騰が利益に影響

(単位：百万円)

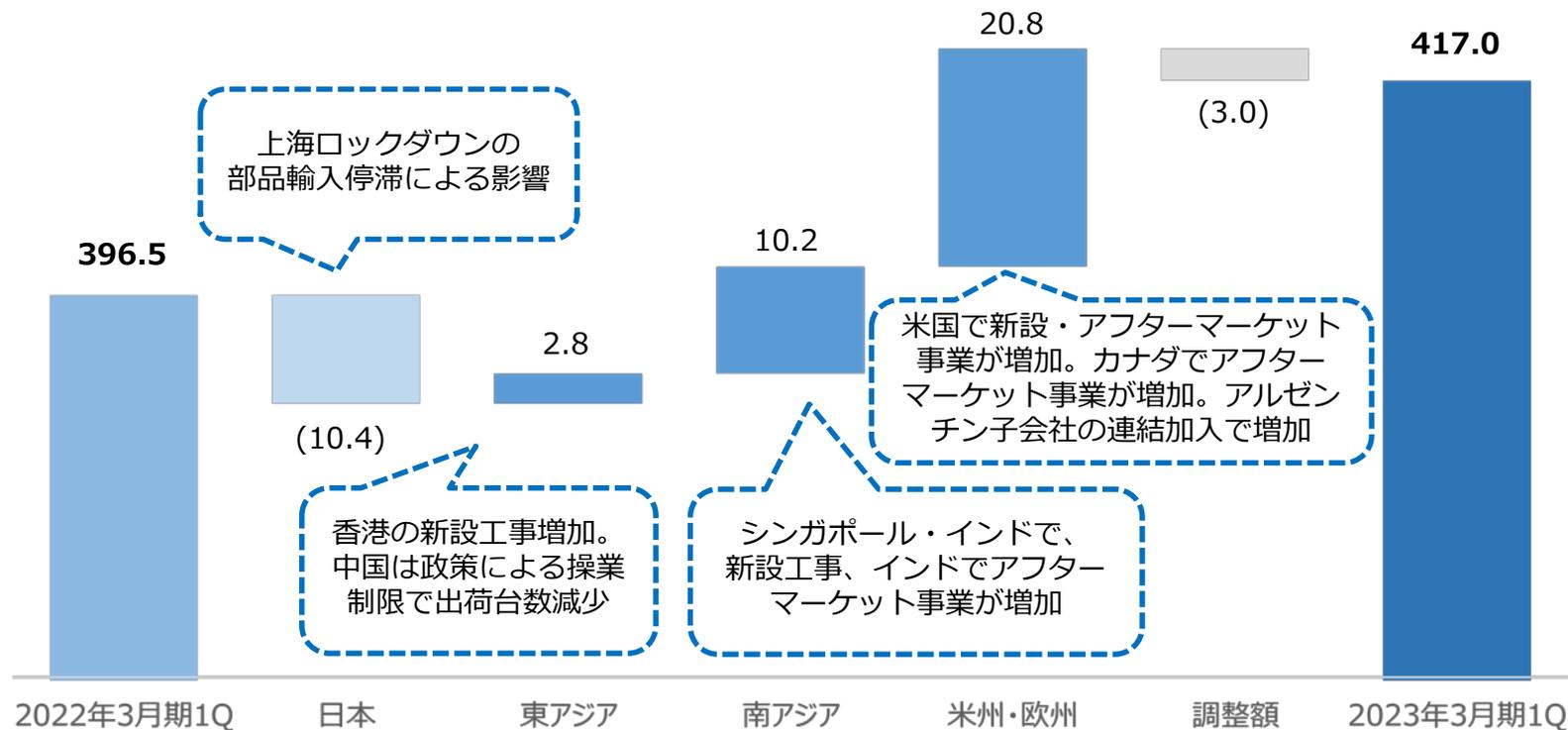
	売上高			営業利益または営業損失		
	2022年3月期 1Q	2023年3月期 1Q	増減率(%)	2022年3月期 1Q	2023年3月期 1Q	増減額
日 本	16,964	15,923	△6.1	1,024	△ 61	△1,085
東 ア ジ ア	14,677	14,966	2.0	1,453	542	△910
南 ア ジ ア	4,354	5,376	23.5	1,126	1,338	211
米 州 ・ 欧 州	6,091	8,174	34.2	306	330	23
小 計	42,088	44,441	5.6	3,909	2,149	△1,760
調 整 額	△2,432	△ 2,736	—	△39	6	46
合 計	39,656	41,705	5.2	3,870	2,155	△1,714

2023年3月期第1四半期より、フジテックアルゼンチーナS.A.を連結の範囲に含めたことに伴い、「北米・欧州」から「米州・欧州」に名称変更

第1四半期 売上高ブレークダウン

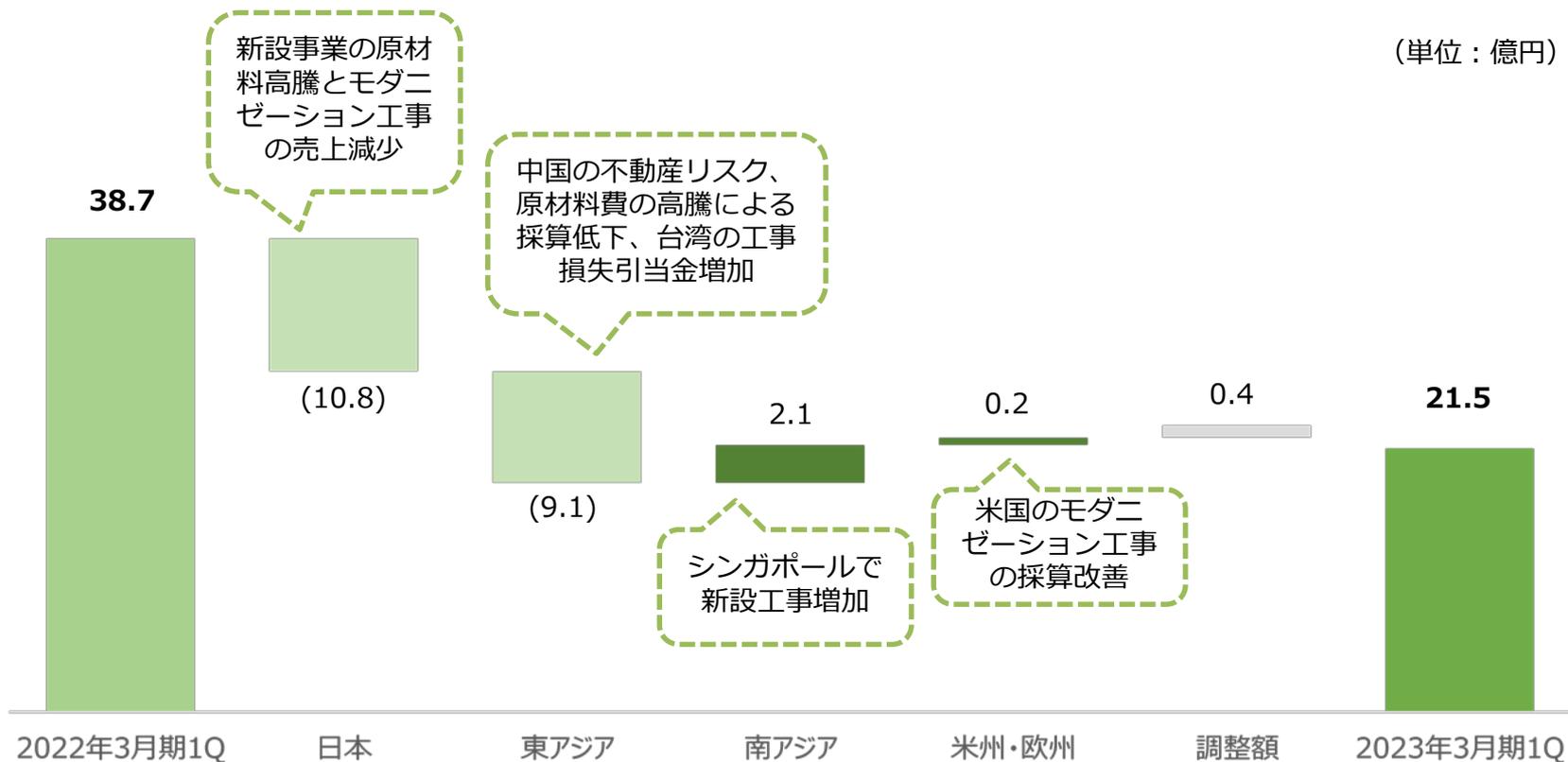
- 南アジア、米州・欧州では、新設事業、アフターマーケット事業ともに堅調に推移。日本は、中国・上海のロックダウンが影響し減収

(単位：億円)



第1四半期 営業利益ブレークダウン

- 日本、東アジアで、原材料高騰などによるコスト上昇で収益性が低下





目指す姿

- 新設事業とアフターマーケット事業の拡大によりシェア向上を図り、売上拡大とコストダウン推進による収益力向上を確実に実行
- お客様の信頼に応える“安全・安心”な商品を継続的に提供し、持続的成長と企業価値向上を目指す

「Vision24」行動指針

販売戦略

- 商品ラインナップ拡充による新市場・顧客の開拓・深耕

生産・オペレーション戦略

- 各拠点連携での調達、次世代技術の導入によるコスト改革

商品・技術戦略

- 各拠点協働での戦略機種の開発・投入
- 環境対応商品の開発強化

コーポレート戦略

- 資本政策とガバナンス体制の強化
- グループ戦略推進体制の整備

- 利用者が“安全・安心”に、快適に、利用できる移動空間の提供を目指す

「エアータップ」のラインアップ拡充



- 「エアータップ」プッシュ式ボタン一体型とハイブリッド型に、デザイン性を重視したボタンを新たに追加
- デザイン性とタッチレス機能の両立で、ホテルや商業施設などオリジナリティを求める建物の幅広いニーズに対応可能



ドーム型クリアボタン
(一体型)



四角クリアボタン
(ハイブリッド型)



かご内車いす用

「エアクレア」エレベータかご内空調システム



「エアクレア」ロゴ

- 「エアクレア」は、エレベータ専用クーラーと、かご内の空気の汚れを浄化する「イオンフル」を統合したクリーン機能の名称
- 両機能は、標準型エレベータ「エクシオール」の標準装備仕様。エレベータ専用クーラーの標準装備仕様は業界初

- フジテック・タイワン（エレベータ工場）の設備増強が完了
- 生産性の向上による商品の価格競争力の強化でグローバル事業の更なる拡大を目指す



フジテック・タイワン新竹工場

設備増強のポイント

- 目的は、台湾市場でのシェア拡大、生産・オペレーション戦略における価格競争力の強化
- 年間1,000台(2024年度)の生産体制を構築
- 板金加工の自動化ライン、溶接ロボットなどの導入と、設備の一部は夜間の無人稼働化で収益力の向上に貢献

環境への貢献

- 台湾のグリーンエネルギー政策に賛同し、工場の屋根を太陽光発電事業者に貸し出し。年間17万kWhの電力を送出
- 発電パネルの設置で工場内の温度低下に繋がり、作業環境の向上に寄与

- 持続可能な社会の実現に貢献する活動を継続

CO2排出量の削減に向けて、昇降機の輸送にダブル連結トラックを導入



- 物流大手・センコー様と共同で、ドライバー1人で、トラック2台分の荷物を輸送する「ダブル連結トラック」を導入
- 東京・大阪間の昇降機輸送で運行を開始
- 「ダブル連結トラック」の導入前と比べて、約30%のCO2削減につながり、長距離輸送の省人化と、脱炭素の推進に効果を発揮

サステナビリティ活動の推進

- TCFDフレームワークに基づき、気候変動が当社事業・業績に与える影響について定性的な分析結果について、公式サイトなどに情報開示

参考情報

第1四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2022年3月末	2022年6月末	増減額	備考
流動資産	163,273	174,854	11,581	
現金及び預金	76,956	83,476	6,519	日本、東アジアでの増加
受取手形、売掛金及び契約資産	66,123	66,919	795	
棚卸資産	15,099	19,894	4,794	東アジア、米州・欧州での増加
その他	8,213	7,947	△266	
貸倒引当金	△3,119	△3,382	△262	
固定資産	57,335	59,405	2,069	
有形固定資産	35,283	36,009	726	設備投資+763 減価償却△817 為替ほか+780
無形固定資産	4,837	5,174	337	
投資その他の資産	17,215	18,221	1,005	
総資産	220,609	234,260	13,650	
流動負債	74,691	82,750	8,058	前受金+4,619 支払手形及び買掛金+1,508 賞与引当金+740
固定負債	5,435	5,421	△13	
純資産	140,482	146,088	5,606	為替換算調整勘定+8,009 非支配株主持分+1,083 利益剰余金+664 自己株式取得△4,195
自己資本比率	56.9%	55.5%	△1.4pt	
B P S	1,549.83円	1,636.83円	87.00円	

- 売上高2,000億円、営業利益147億円を目指す。いずれも過去最高の計画
- 直近に公表されている業績予想から修正無し

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	前期比増減(%)
売上高	187,018	200,000	6.9
営業利益	13,777	14,700	6.7
営業利益率	7.4%	7.4%	—
経常利益	15,713	15,600	△0.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,835	10,200	△5.9
1株当たり当期純利益	133.42円	128.42円	—
ROE	9.1%	8.3%	—

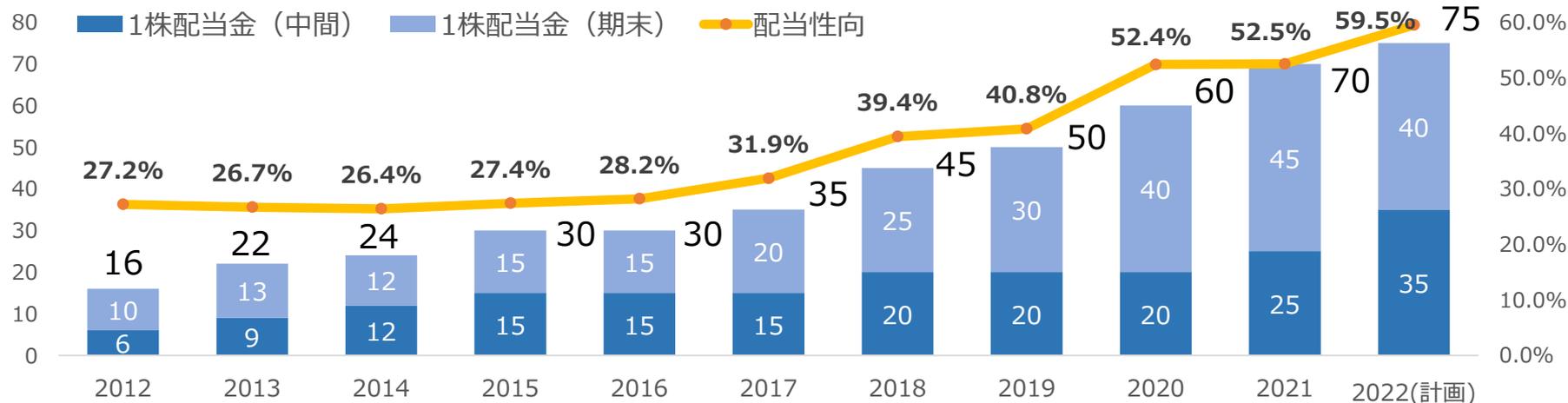
対米ドル円為替レート

109.41円

115.00円

1株あたりの配当金と配当性向の推移

(単位：円)



自己株式取得の状況 (2022年6月末時点)

	計画値	実績	進捗率
株数	3,500	1,918	55%
金額	10,000	5,200	52%

(株数：千株、金額：百万円)

新設工事

完成



ウェスティンホテル横浜/アパートメントベイ横浜
(日本・横浜)
エレベータ14台・エスカレータ4台 計18台

Copyright 2022 Fujitec All Rights reserved

モダニゼーション工事

受注



Energy Plaza
(米国・ダラス)
エレベータ18台

受注



中華広場
(中国・広州)
エレベータ2台・エスカレータ18台 計20台

社名	フジテック株式会社
設立	1948年2月 (1974年2月東証第一部上場、2022年4月東証プライム市場移行)
本社	ビッグウイング 滋賀県彦根市宮田町591番地1
事業内容	エレベータ、エスカレータの研究開発・製造・販売 据付・保守
資本金	125億33百万円（発行済株式数82,400,000株）
役員	代表取締役社長 岡田 隆夫 取締役：9名（うち社外6名） 監査役：4名（うち社外3名）
従業員数	連結 10,964名（単独 3,227名）
関係会社	35社（内、連結子会社22社） （米州、東アジア、南アジア、欧州・中近東）

本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。

既に知られた、もしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2022年8月5日現在において利用可能な情報に基づいて、当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

2022年8月5日

フジテック株式会社

2023年3月期第1四半期 連結業績概要

